公共情報コモンズ合同訓練報告

NHK編成局デジタルコンテンツセンター
２０１３．８

■概要

1．日時　2013年6月12日（水）

2．NHK参加放送局

東京・仙台・福島・静岡・大阪・神戸・広島・松山・徳島

3．内容

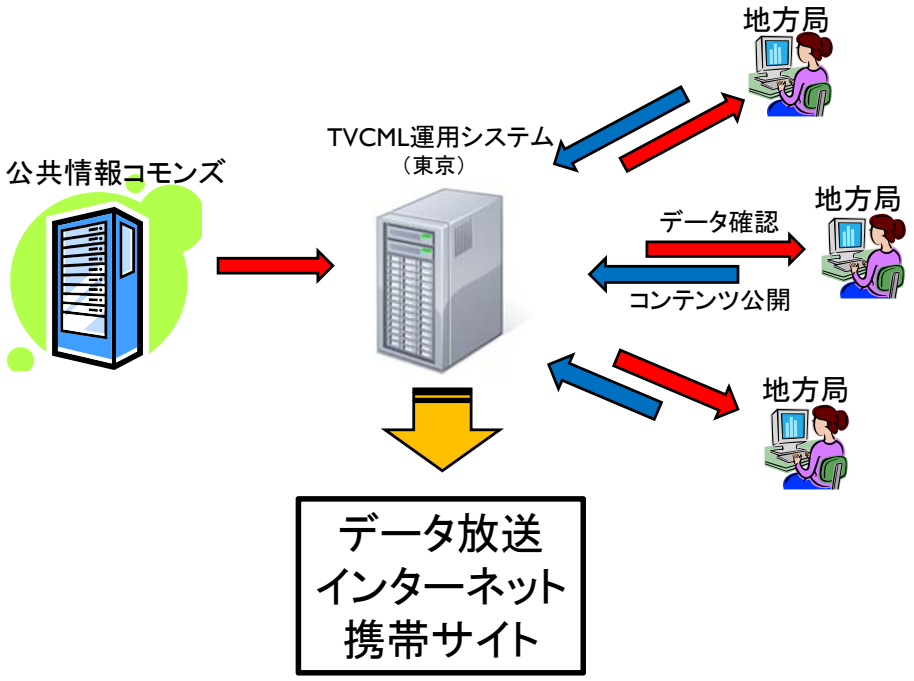
・NHKが設置したTVCML運用システムについて、データ閲覧、データ修正、コンテンツ公開までの一連の操作手順を確認する

・各府県が配信するデータの妥当性を検証する

・データ放送、インターネット、携帯の各コンテンツについて、検証環境を使って動作と表示を確認する

・ データ放送コンテンツの訓練放送を実施する

■ＴＶＣＭＬの取得



■各放送局の対応

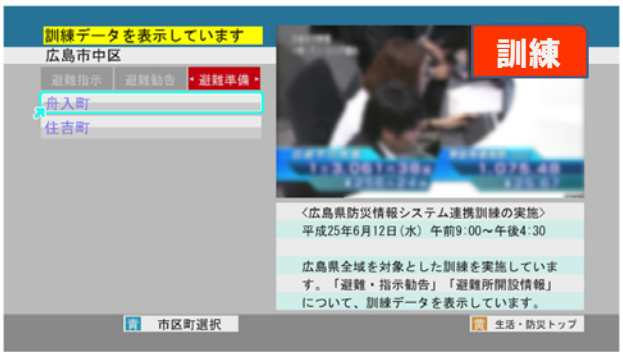
	NHKの取り組み
本部	局内検証環境を使ってデータ放送とインターネットの表示を確認
仙台	局内検証環境で表示を確認するとともに、宮城県庁の訓練会場にデータ放送の検証画面を伝送して、関係者向けにデモを実施。この訓練を以て、本番運用に移行。
福島	局内検証環境でのコンテンツ表示と、局内会場での県防災担当者向けデモの実施。この訓練を以て、本番運用に移行。
静岡	局内検証環境でのコンテンツ表示確認
大阪	受信データの検証
神戸	データ放送の訓練放送の実施
広島	データ放送の訓練放送の実施
松山	局内検証環境でのコンテンツ表示確認
徳島	受信データの検証

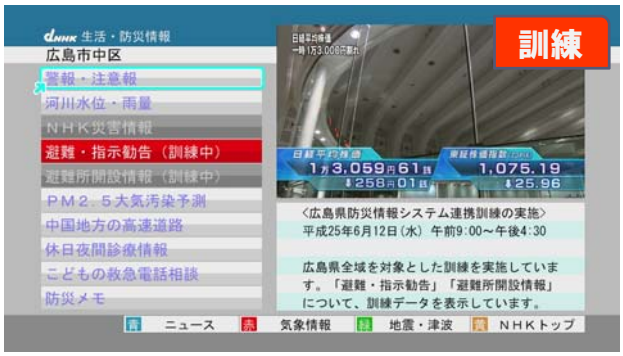
■広島局の事例

○広島局ではコモンズデータを使ったデータ放送の運用をすでに開始している。訓練放送の実施は、今回が初めて。

○データ放送で訓練放送の実施をあらかじめ告知するともに、実際の画面でも訓練であることが一目でわかるように表示した

○訓練の様子や、公共情報コモンズの概要の説明と合わせて、当日のニュースで詳しく紹介することで、県民への認知度を高めることができた



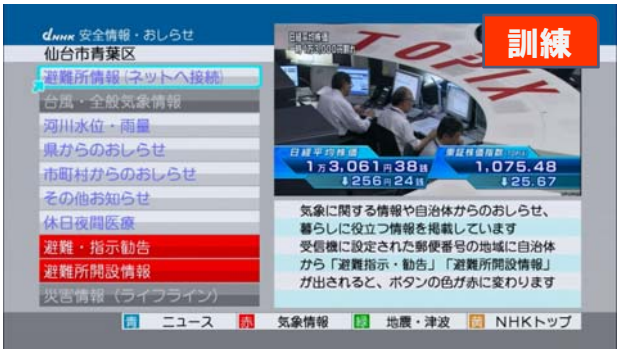


■仙台局の事例

○局内の検証環境を使い、宮城県が配信した「避難情報」と「避難所情報」のコンテンツ表示を確認。

○検証画面を訓練会場の宮城県庁に簡易伝送して、関係者向けのデモンストレーションを実施。

○今回の訓練をもって、仙台局では本番運用に移行



■インターネット表示の検証

NHK編成局デジタルコンテンツセンター

静岡県における公共情報コモンズ合同訓練報告

静岡放送株式会社

2013.06.27.

© Shizuoka Broadcasting System,Inc.

■実施要領

1　日時
　２０１３年6月１２日（水）午前9時３０分～１１時００分

2　場所
　静岡県庁別館５Ｆ危機管理センター　他

3　参加者
　県（危機管理課・危機情報課・広報課・情報政策課・各危機管理局）
　各市町(県内３５市町の内３１市町)
　報道機関（弊社は実サービスの電波を用い、訓練情報配信）

4　目的
　県及び市町からFUJISANに災害対策本部設置及び廃止、避難勧告等の発令、更新（地区追加、部分解除）、避難所開設及び閉鎖、被害総括の各情報を入力し、公共情報コモンズに送信するとともに、放送事業者において受信し、データ加工及び配信を行うことにより、県、市町、放送事業者との連携、運用の確認、検証等を行う。

5　概要
　県本部、方面本部及び各市町からFUJISANに各情報を入力し、公共情報コモンズにデータを送信する。
　また、放送事業者のデータ放送により、情報公開内容を確認する。

© Shizuoka Broadcasting System,Inc.

■情報入力タイムチャート

時刻	情報種別	内容
０９：３０	災害対策本部設置	設置
０９：４０	避難勧告・避難指示	発令
０９：５０	避難所	開設
１０：００	避難勧告・避難指示	追加
１０：１０	避難勧告・避難指示	部分解除
１０：２０	避難勧告・避難指示	全解除
１０：４０	被害総括	総括情報
１０：５０	避難所	閉鎖
１１：００	災害対策本部設置	廃止

＜公開情報＞
災害対策本部設置（県）
被害総括（県）
避難勧告・避難指示（市町）
避難所（市町）

＜入力＞
県本部、方面本部及び市町庁舎から各項目入力時間までに入力

© Shizuoka Broadcasting System,Inc.

■事前告知

テレビ
６／１１（火）１１：３０「ひるおび」内県内ニュース枠
６／１１（火）１６：４５「ＳＢＳイブニングｅｙｅ」内
６／１２（水）０９：５５「Ｓｏｌｅいいね！」内

Web
弊社テレビサイト特設ページ　６／５（水）～６／１２（水）

Twitter
弊社アカウント「@sbs6ch」で弊社サイト内特設ページを案内

Facebook
弊社Facebookページで弊社サイト内特設ページを案内

© Shizuoka Broadcasting System,Inc.

■事後報道

災害情報の公開確認

県、32市町と報道機関 システム使い訓練

「公共情報コモンズ」の合同訓練で、公開された災害情報を確認する県職員＝12日午前11時ごろ、県庁

県と県内の32市町、報道機関は12日午前、総務省が推進する災害情報提供システム「公共情報コモンズ」の合同訓練を各庁舎などで行った。同システムを利用した合同訓練は初めて。台風接近による大雨発生を想定し、県と市町が被害状況や避難勧告などの情報を入力し、報道機関が公開情報を確認した。

訓練は同省が呼び掛け、システムに参加する本県など8府県で一斉に実施した。県内では業務上の理由で不参加になった富士宮市、森町、西伊豆町を除く32市町と静岡新聞社・静岡放送などが参加した。

午前9時半ごろ、県と32市町はそれぞれ「災害対策本部設置」の情報をシステムに入力して、参加者間に公開した。その後、時間の経過とともに市町が「避難勧告発令」「避難所開設」などを入力した。県は同10時45分に県内全体の被害状況をまとめて公開した。

県庁の危機管理センターで行われた訓練には、県危機管理部職員や報道機関関係者ら約20人が参加した。大型モニターにはシステムの公開情報のほか、静岡放送がテレビのデータ放送で一般向けに放送した訓練用データも映し出された。

静岡新聞　６／１２（水）夕刊

KIMPARA,masayuki （SBS-TV）2013
© Shizuoka Broadcasting System,Inc.

■成果と課題

＜成果＞

○FUJISAN～公共情報コモンズ～弊社データ放送システムの連携が順調に行えることの確認が出来た。
○FUJISAN～公共情報コモンズ～弊社データ放送システムの連携の運用ベースでの確認が出来た。
○県及び市町の災害情報担当の方々に情報の最終的な利用イメージを捉えて頂けた。

＜課題＞

○FUJISAN～公共情報コモンズ～弊社データ放送システムという複数のシステム連携での情報配信のため、
　入力からデータ放送での表示までに最大３～４分の時間を要することが判明。
　今後、この時間の圧縮に努める。
○大量なデータの送信が行われた場合、その処理に時間を要することが判明。
　関係各所と協力し原因を調査し、適切な対策を取る。
○情報更新時のデータ放送コンテンツのフォーカス移動等操作性の改善点判明。
　今後、視聴者目線に立ったコンテンツ改修を行う。
○「被害情報」で被害がない場合の入力方法の揺れ（「０（ゼロ）」を入力するか否か）。
○「避難所情報」での収容可能人数等避難所規模。
○交通情報、ライフライン情報等の情報の種類の拡充。
○地デジ・データ放送以外Web等の活用方法の検討。

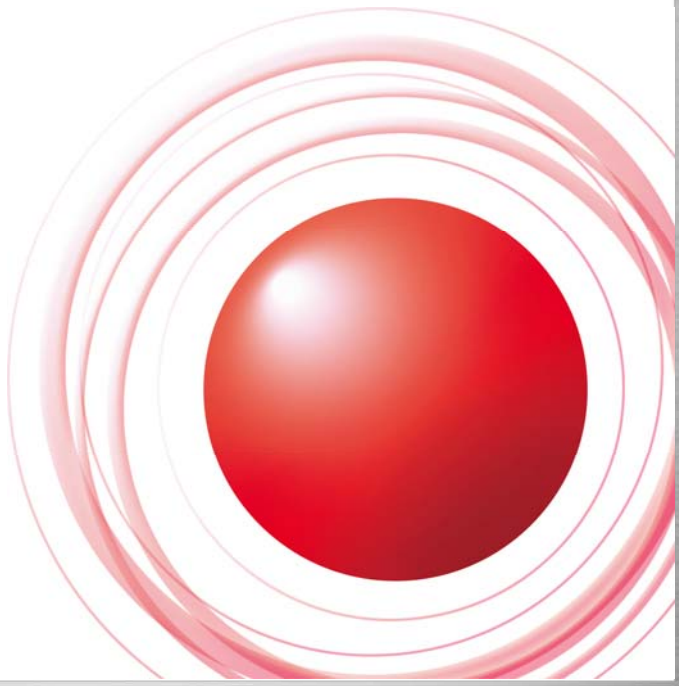
県及び市町、関係各機関等との協力強化

より適切な情報伝達の方法の検討と実施

KIMPARA,masayuki （SBS-TV）2013
© Shizuoka Broadcasting System,Inc.

ダイドードリンコ／IIJ
公共情報コモンズ訓練参加資料（訓練後）

IIJ
Internet Initiative Japan



株式会社インターネットイニシアティブ
2013/7/23

Ongoing Innovation

© 2012 Internet Initiative Japan Inc.

目的および資料概要

目的

公共情報コモンズの情報をダイドードリンコ様とともに提供している情報配信システムにて受信、サイネージ端末などへ配信を行いシステム連携に関する確認を行う

自販機併設型IIJ防災情報配信ソリューションでの訓練概要

スケジュール

推進体制および役割

© 2012 Internet Initiative Japan Inc.

6/12　訓練結果

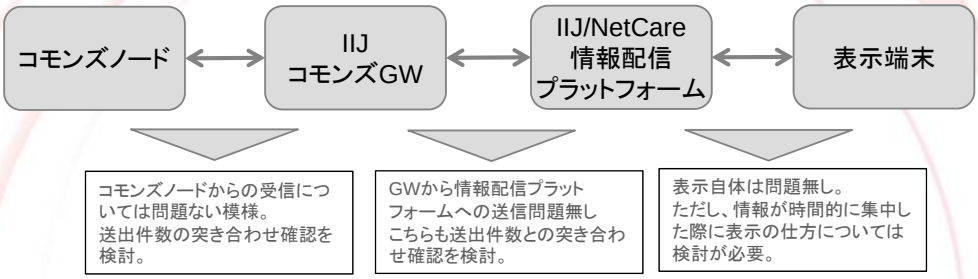
© 2012 Internet Initiative Japan Inc.

公共情報コモンズ訓練　IIJ総評

- 公共情報コモンズシステムとIIJ配信システムとの情報連携については基本的には問題無し
- 情報の量および表示の関しては改善の必要性あり

© 2012 Internet Initiative Japan Inc.

システム全般



- 全般的課題
  - 情報が多い場合の処理が課題
    - どのような表示にすれば効果的かを検討する必要あり。
    - 今回の仕組みは表示するための画像を作成していたが、この仕組みが大量の情報が来た場合の処理を検討する必要あり。
  - 情報の選択に関する記述
    - 今回情報を選択する機能は持っていなかったのだが、選択させるための手段を検討する必要あり。

© 2012 Internet Initiative Japan Inc.

表示内容について

- どこ(場所、自治体)の情報かが明確ではなかった
  - 場所の情報と内容を上手に表示する方法が必要
  - IIJでは本文のみの表示を行っていたため、場所が特定できない情報が存在した。
- 情報の統一感について
  - 最低限必要な情報のガイドラインはあると便利ではないか

© 2012 Internet Initiative Japan Inc.

IIJ Internet Initiative Japan

インターネットの先にいます。

IIJはこれまで、日本のインターネットはどうあるべきかを考え、
つねに先駆者として、インターネットの可能性を切り拓いてきました。
インターネットの未来を想い、イノベーションに挑戦し続けることで、世界を塗り変えていく。
それは、これからも変わることのない姿勢です。
IIJの真ん中のIはイニシアティブ ―――――― IIJはいつもはじまりであり、未来です。

Ongoing Innovation

お問い合わせ先　IIJインフォメーションセンター
TEL：03-5205-4466（9：30～17：30 土/日/祝日除く）
info@iij.ad.jp
http://www.iij.ad.jp/

本書には、株式会社インターネットイニシアティブに権利の帰属する秘密情報が含まれています。本書の著作権は、当社に帰属し、日本の著作権法及び国際条約により保護されており、著作権者の事前の書面による許諾がなければ、複製・翻案・公衆送信等できません。IIJ、Internet Initiative Japanは、株式会社インターネットイニシアティブの商標または登録商標です。その他、本書に掲載されている商品名、会社名等は各会社の商号、商標または登録商標です。本文中では™、®マークは表示しておりません。
©2012 Internet Initiative Japan Inc. All rights reserved. 本サービスの仕様、及び本書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

Pelican-120515（2.6）

公共情報コモンズ合同訓練報告（IMC Tokyo 2013 ）

2013.7.25
メディアプラットフォームラボ

1. はじめに

2013/6/12（水）～6/14（金） 幕張メッセ（国際展示場 国際会議場）にて開催したメディアコンテンツビジネス専門イベント（IMC Tokyo 2013）での標記訓練デモ展示状況を報告致します。

2. イベント開催日・場所・来場者数

開催日：2013/6/12（水）～6/14（金）
開催場所：幕張メッセ（国際展示場 国際会議場）
来場者数：131,984人（同時併催イベント含む）

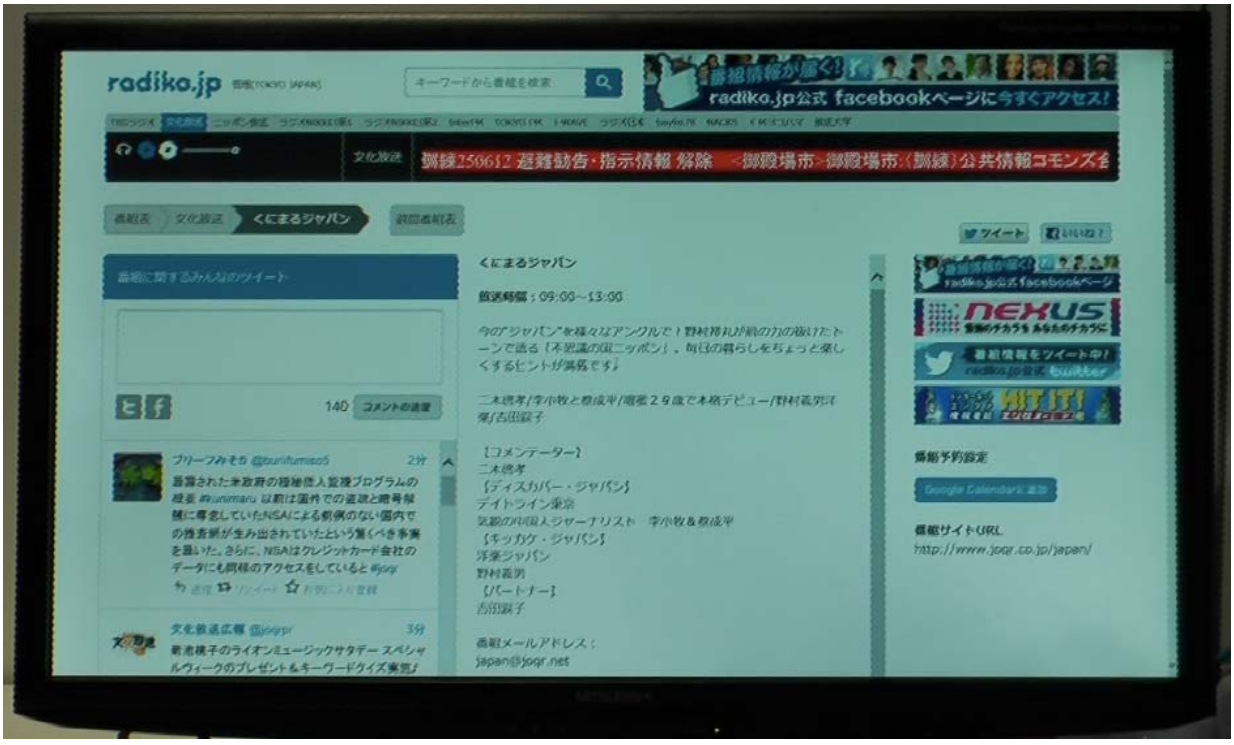
3展示内容

(1)radiko.jp （PCサイト）の文化放送視聴者画面に宮城県の訓練報、ラジオ関西視聴者画面に兵庫県の訓練報をリアルタイムに表示。
(2) 6月13日、14日は、DBに蓄積した12日の訓練報を表示。

(3)合同訓練展示ブース来訪者数：約900人（3日間合計）
(4)来訪者コメント
・ラジオと一緒に公共情報が表示されるのは有効。
・地域性が高いコミュニティFM等と相性が良い。
(5)その他：3社（ニューメディア、映像新聞社、神戸新文社）より取材を受ける。

別紙１－１　公共情報コモンズ合同訓練展示画面

文化放送



別紙１－２　　公共情報コモンズ合同訓練展示画面

ラジオ関西

別紙2

神戸新聞

2013/6/12 21:01

ネットラジオ配信サービスで災害情報速報　千葉でデモ

拡大

ラジオ関西のデモなどが行われた情報通信技術イベント＝１２日午後、千葉・幕張メッセ

自治体から緊急災害情報をメディアに配信するシステム「公共情報コモンズ」を活用し、インターネットラジオ配信サービス「ｒａｄｉｋｏ（ラジコ）」内のラジオ関西（神戸市）のページに災害情報を速報するデモンストレーションが１２日、千葉・幕張メッセで始まった情報通信技術イベントで披露された。

公共情報コモンズは、市町村が避難勧告・指示や避難所の開設などの情報を入力すると、専用ネットワークを通じて瞬時に放送局や通信事業者などに配信され、データ放送での速報が可能になる仕組み。総務省が全国への普及を進めている。

ｒａｄｉｋｏのデモンストレーションは、兵庫など８府県で行われた公共情報コモンズの合同運用訓練に合わせて企画。ラジオ関西の番組情報が並ぶパソコン画面上部に「姫路市　避難指示」などの災害情報が流され、イベント参加者らの注目を集めていた。総務省の担当者は「実際の運用が始まればスマートフォン（多機能携帯電話）でも速報が見られるため、災害時の情報収集に役立つはず」と期待していた。（山本哲志）